

2025年3月10日

京王電鉄株式会社

京王ストア株式会社

3月18日（火）から開始！

**移動販売車での回収は日本初！  
京王ストア稲城店および同店を拠点とする移動販売車にて  
家庭で出る使用済み食用油の回収・リサイクルを開始！**

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、取締役社長：都村 智史、以下「京王電鉄」）、京王ストア株式会社（本社：東京都多摩市、取締役社長：川田 裕史、以下「京王ストア」）は、**3月18日（火）から、京王電鉄が運営する、日常の買い物に不便なお客様を対象とした食品品や日用雑貨の販売を行う「移動販売車」と、同事業の拠点の1つである京王ストア稲城店にて、家庭で出る使用済み食用油（以下「家庭系廃食用油」）の回収を開始します。**なお、移動販売車での家庭系廃食用油回収は日本で初めての取り組み（当社調べ）となります。

回収された家庭系廃食用油は、回収・リサイクル処理を行う株式会社吉川油脂（本社：栃木県佐野市、代表取締役：吉川 千福）と連携し、**石鹼やインク溶剤等の製造に活用することで再利用を進めます。**さらに、将来的にはENEOS株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山口 敦治）と連携し、**持続可能な航空燃料※1（Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」）の原料として活用することも目指します。**

今後は移動販売車と京王ストア店舗での回収を拡大し、お客様とともに、身近でわかりやすいリサイクルの仕組みを構築することで、CO2 排出量の削減と資源循環型社会の実現に向け取り組んでまいります。

※1 持続可能な航空燃料（Sustainable Aviation Fuel・SAF）

廃食用油や獣脂などの非化石原料から製造する航空燃料。化石燃料由来の燃料に比べ、温室効果ガスであるCO2 排出量を抑えることができます。ENEOS株式会社は2028年度以降の稼働を目指して事業化を進めるSAFの製造プランに、家庭系廃食用油を原料の一部として供給することを目指します。



《京王ストア稲城店》



《京王電鉄 移動販売車》

## 1. 移動販売車での回収について

### (1) 開始日

2025年3月18日(火)

### (2) 実施場所

移動販売5号車販売場所(稲城市・調布市エリア)

(販売スケジュール: <https://www.keio-hot.net/shopping/schedule/>)

※回収地域は順次拡大予定。随時京王ほっとネットワークHP上でお知らせします。

### (3) 回収方法

回収には専用リターナブルボトル(無償で配布)を使用します。

①移動販売スタッフにお申し出いただき、ボトルを受け取ります。

②ボトルに廃食用油を入れ、次回販売時に移動販売スタッフへ手渡しし、新しいボトルを受け取ります。

### (4) お客様のお問い合わせ先

京王電鉄株式会社 沿線価値創造部 TEL.042-337-3036

## 2. 京王ストア店舗での回収について

### (1) 開始日

2025年3月18日(火)

### (2) 実施店舗

京王ストア稲城店

※回収拠点は順次拡大予定。随時店頭や京王ストアHP上でお知らせします。

### (3) 回収方法

回収には専用リターナブルボトル(無償で配布)を使用します。

ボトルに廃食用油を入れ、店舗内の専用回収ボックスへ入れていただきます。

※サービスカウンターでの受け取りとなる店舗もあります。

※専用リターナブルボトルは専用回収ボックス付近で配布予定。

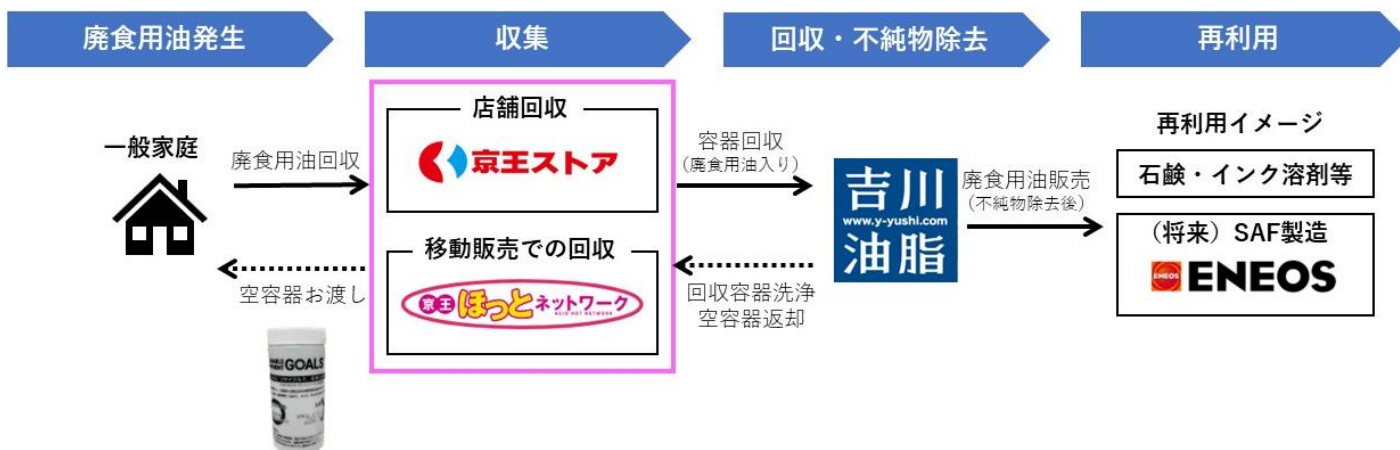
### (4) お客様のお問い合わせ先

株式会社京王ストア TEL.042-337-2851



《専用回収ボックス(イメージ)》

## 3. 取り組みのスキーム



### 【参考1】専用リターナブルボトルについて

従来の家庭系廃食用油の回収の多くは使用済みペットボトルにより行われておりましたが、専用リターナブルボトルを使用することにより、洗浄し繰り返し使用することで、ゴミを発生させない取り組みとなっております。



《専用リターナブルボトル》

### 【参考2】専用回収ボックスについて※京王ストアの一部店舗に設置

専用リターナブルボトルは店舗に設置してある専用回収ボックスにて回収します。専用回収ボックスのフタを開け、ボトルごとお入れください。

※回収は、専用回収ボックスではなくサービスカウンターでの受け取りとなる店舗もあります。



《専用回収ボックス（フタを開けた状態、イメージ）》